

GXT3-48VBATTJ & GXT3-72VBATTJ

追加バッテリーキャビネット設置ガイド

「GXT3-48VBATTJ」&「GXT3-72VBATTJ」追加バッテリーキャビネット（以下『バッテリーキャビネット』）は、「GXT3-J UPS」（以下『UPS』）のオプション品です。GXT3-48VBATTJ バッテリーキャビネットは GXT3 800VA ~ 2200VA シリーズ UPS、GXT3-72VBATTJ バッテリーキャビネットは GXT3 3000VA シリーズ UPS と、それぞれ併設して使用しなければなりません。問題なく運転させるために、この設置ガイドをよくお読みになってからバッテリーキャビネット取付・操作を行ってください。

1. 付属品

追加バッテリーキャビネットと一緒に以下が同梱されています。

- ・ ラックマウント用ブラケット 2個
- ・ フロントカバー 1個
- ・ タワー用スペーサー 2枚
- ・ ラックマウント用ブラケット固定ネジ(M4 8mm) 8本
- ・ 接続用ケーブル 1本
- ・ 滑り止めシート 4枚

2. 外観とコネクタ

バッテリーキャビネット背面には、バッテリーコネクタと表示されたバッテリー用コネクタが2個、サーキットブレーカーが1個あります(図 1-1)。

※接続ケーブルは、バッテリー用コネクタ2個のどちらかに挿入しても問題ございません。

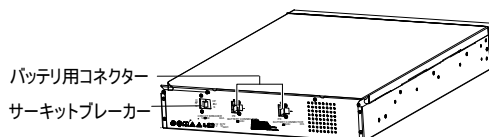


図 1-1 バッテリーキャビネット(背面図)

注意

バッテリーキャビネットの筐体カバーは、危険ですので絶対に開けないでください。

2.2 技術仕様

バッテリーキャビネットの寸法・重量は以下の通りです。

表 1-1 寸法と重量

機種	寸法(奥行き×幅×高さ)	重量
GXT3-48VBATTJ	497mm × 430mm × 85mm	30.5kg
GXT3-72VBATTJ	602mm × 430mm × 85mm	43.0kg

バッテリーキャビネットの環境条件は表 1-2 を参照してください。

表 1-2 環境条件

パラメータ	推奨範囲
環境温度	0° C ~ 40° C
相対湿度	0%RH ~ 95%RH (結露のないこと)
標高	3000m 以下
気圧	標準大気 1

3. 据付

3.1 設置環境

バッテリーキャビネットは、以下の条件を満たした環境に設置してください。

- 換気が十分で、直射日光の当たらない場所
- 水や熱源、可燃物、爆発物が近くにないこと
- 塵埃や揮発性ガス、塩分、腐食性物質のないこと

3.2 開梱時の点検

1. バッテリーキャビネットを開梱したら、外観の目視点検をしてください。輸送中に受けた損傷などがあれば、運送会社にただちに連絡してください。
2. 付属品に欠品等がないか、出荷リストの記載内容と照らし合わせてください。

3.3 据付手順

バッテリーキャビネットは、タワー型またはラック型の設置を選べます。

3.3.1 ラック内に取り付ける場合

レールキット付属の設置マニュアルをご参照ください。

3.3.2 タワー型で設置する場合

1. UPS 本体付属のサポート・ベース、バッテリーキャビネット付属のスペーサーと各滑り止めシートを取り出します。(図 2-1)

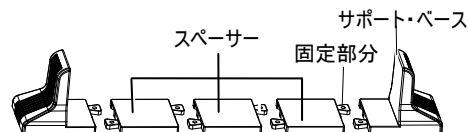


図 2-1 UPS サポート・ベース & バッテリーキャビネット スペーサー

※ 組み立ての際、危険防止のため必ずサポート・ベースとスペーサーの上部に滑り止めシートを張り付けてください

2. UPS 本体とバッテリーキャビネットを2組のサポート・ベースに載せます。(図 2-2)

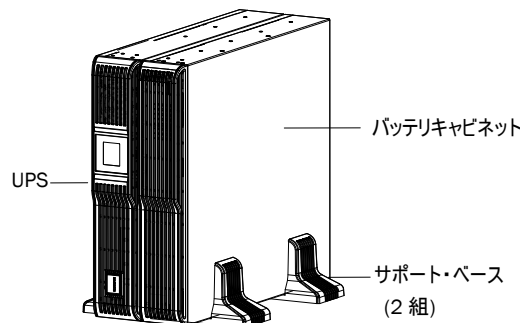


図 2-2 UPS & バッテリーキャビネット設置図

3.4 ケーブルの接続

3.4.1 注意事項

1. GXT3-J 用の適切なバッテリーキャビネットをご使用ください。

UPS 型番	バッテリーキャビネット型番
GXT3-800RT100J	GXT3-48VBATTJ
GXT3-1100RT100J	
GXT3-2200RT100J	
GXT3-3000RT100J	GXT3-48VBATTJ

注意

1. バッテリーの[+]極と[-]極を逆にししないでください。
2. 異なる UPS 同士で同じグループのバッテリーを共有することはできません。UPS が損傷します。
3. 専用のバッテリーケーブル(長さ 0.65m)が付属しております。他のケーブルは使用しないでください。

3.4.2 接続手順

UPS の電源はオンまたはオフ状態で接続可能です。

バッテリーキャビネットと UPS の接続方法

1. バッテリーキャビネットのサーキットブレーカーを切ります。
2. 付属品のバッテリーケーブルで、UPS 背面にあるバッテリー用コネクタとバッテリーキャビネット背面にあるバッテリー用コネクタを接続します。(図 2-3) 複数のバッテリーキャビネットの接続時にはバッテリーケーブルの両端をそれぞれ、2 台のバッテリーキャビネットの背面パネルにあるバッテリー用コネクタ(2 個のうちいずれも可)に接続します。
3. バッテリーキャビネットのサーキットブレーカーを入れます。

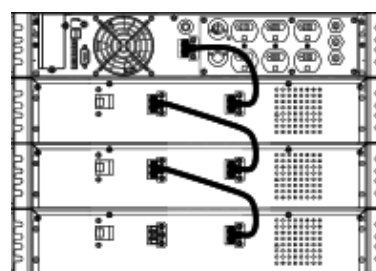


図 2-3 UPS とバッテリーキャビネット接続図(背面)

3.5 UPS LCD パネルでのバッテリーキャビネット追加方法

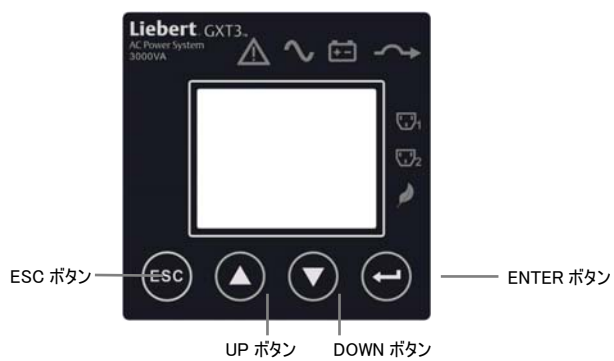


図 2-4 LED 操作パネル

1. ENTER ボタンを1秒押しメニュー画面を開く
2. 「2 設定」を選択して ENTER ボタンを1秒押す
3. 「2 BATTERY」を選択して ENTER ボタンを1秒押す
4. 追加バッテリーキャビネットで ENTER ボタンを1秒押す
5. 追加バッテリーキャビネット数を UP または DOWN ボタンで設定して ENTER ボタンを1秒押す(1~4 台追加可能)
6. ESC ボタンを押すと“設定変更されました。すぐに有効になります”が表示され設定が更新されます

●お問合せ先

DKSH ジャパン株式会社
テクノロジー事業部門 (Vertiv 製品担当)
〒108-8360 東京都港区三田 3-4-19
TEL: 03-5730-7500, FAX: 03-5730-7517
URL: www.dksh.jp
E-mail: tec-np.dcim.jp@dksh.com